

出雲木材市場が核となった住宅部材の共同出荷と新商品の開発

1. 株式会社出雲木材市場の概要

【業務】 原木・木材製品・木質建材の委託販売等
【面積】 48,500m²



原木市場の様子



木材製品市場の様子

2. 取組の背景

- (1) 県外企業等による大ロット・高品質・多品目の需要に対して、単独の製材工場では対応が困難
- (2) 製材・販売能力を拡大するため、出雲木材市場が核となって製材工場間の連携・グループ化の取組を推進
- (3) こうした取組を契機に、県産木材の県外出荷をさらに拡大

3. 取組の成果

(1) 県産木材「住宅部材一式」の県外出荷開始

- ① 県外企業等からの木材調達要望を受けた島根県大阪事務所が、県内製材工場に情報を提供。
- ② これに出雲木材市場が核となって対応し、県産木材「住宅部材一式※」の県外出荷が実現。

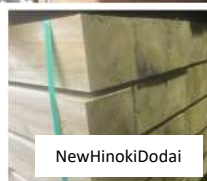
※ 住宅部材一式：
梁、桁、土台、柱、間柱などの構造材一式

【主な県外出荷先】

・石川県・兵庫県・広島県
・香川県・高知県・福岡県 など



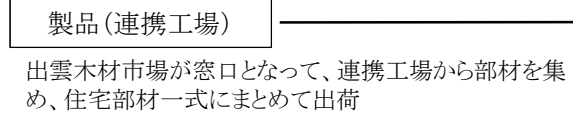
出荷住宅部材が使われた木造建築の様子



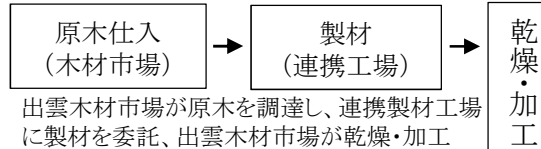
NewHinokiDodai

(2) 出雲木材市場を核とした連携製造・出荷体制構築

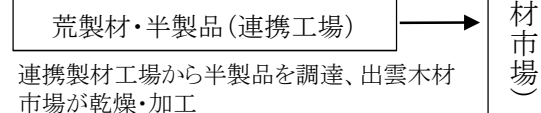
① 連携出荷



② 連携製造(製材委託)



③ 連携製造(半製品加工)



出荷を待つ住宅部材

(3) 新商品の開発

- ① 新商品「FITDRY ※」を開発 (R5.3月)
- ② 県外展示商談会等に新商品の試作品を出展、県外販路拡大の取組をスタート、商標登録 (R5.6月)
- ③ 被災地向け再利用可能高付加価値桧土台「New Hinoki Dodai」を開発 (R7.2月)



県外展示商談会に新商品(試作品)を出品

※ FITDRY：人工乾燥による負荷・燃料消費を抑え、木と環境にやさしい、ナチュラルな木味を持つ、人工乾燥・天然乾燥を併用(ハイブリッド乾燥)したオリジナル商品

4. 課題と今後の取組方向

県外販路の拡大に向け、

- (1) 連携体制、生産施設を強化し、県外の本木需要に柔軟かつ的確に対応する体制の強化
- (2) オリジナル新商品「FIT DRY(ハイブリッド乾燥材)」
「New Hinoki Dodai(再利用可能高付加価値桧土台)」のさらなる品質と認知度の向上